

救急

Medical evacuation operation

- 山間地域や事故現場からの救急患者の搬送
- 医師、医療機材等の搬送
- 高度医療機関への傷病者の搬送
- ドクターヘリの運航

地上の救急隊や消防本部との連携のもと防災ヘリにより救出した傷病者をいち早く救急隊や医療機関に引き継ぎます。また、航空隊が保有している救命資機材をヘリに搭載し、救急車と連携しながら病院間の傷病者搬送を行うほか、救急現場に医師を搬送します。さらに、ドクターヘリが出動できない場合は、防災ヘリが、補完的に活動します。



航空隊の救命資機材を搭載



病院の屋上ヘリポート確認



傷病者の引き継ぎ



搬送先病院へ到着

広域応援

Wide area support operation

- 災害時応援協定に基づく他県への応援活動
- 埼玉県緊急消防援助隊航空部隊としての調査・捜索・救助・搬送活動

近県の防災ヘリが機体の検査等で出動できない場合や大規模災害が発生した場合、相互応援協定に基づき埼玉県の防災ヘリが応援のため出動します。また、国内の大規模災害に対しては、消防庁長官からの要請、指示に基づき緊急消防援助隊航空部隊として被災地で活動を行います。さらに、防災ヘリ「あらかわ4」は総務省消防庁機としての活動も行います。



茨城県鹿島灘で海難事故捜索



茨城県内のコンビナート火災
(東日本大震災)



常陸那珂火力発電所から救出
(東日本大震災)



岩手県内での救援物資輸送
(東日本大震災)

安全運航のために

For safe operation

- 徹底した装備の点検・計器類の確認
- 入念な機体整備
- 現場や気象状況を全員で徹底確認
- 全員で情報・知識を共有

徹底した安全運航を実施するため装備資機材の点検や機器類の確認を隊員、パイロット、整備士が毎日、入念に実施しています。また、出動時には防災航空センターにある動態管理システムで防災ヘリの位置を確認しながら、無線で活動支援を行います。さらに、定期的に全体会議で隊員、パイロット、整備士が専門情報を共有化して安全運航の徹底を図っています。



隊員が相互に装備点検



パイロットの計器確認



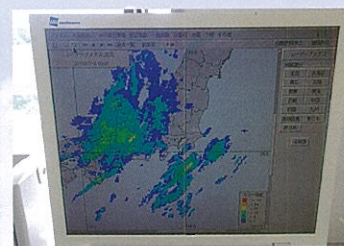
整備士が入念にチェック



整備士が複数の目で検査



情報収集&ブリーフィング



レーダーアメダスの確認



朝礼で気象状況の確認



全体会議でスキルアップ